

2 学力向上アクションプランの具体例

横浜市立本牧小学校

令和元年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
「みんなで認め合い、学び合い、やりぬく本牧の子」	問題発見・解決能力 言語能力 自分づくりに関する力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○子どもたちが、「自分大好き、友達大好き、本牧大好き」と思う学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりに寄り添い、子どもたち全員を全職員でかかわり、よさやもっている力を引き出します。 ・どの子ども主体的に学び、「全員参加」の授業づくりをします。また、授業を通して、自己肯定感を高めます。 ・人とのつながりを大切にし、やさしい心、感謝の気持ちを育てます。また、あいさつや礼儀正しい態度を培います。 ・健康な心身をつくるための生活習慣が身に付くようにします。 ・「まちの学校」として、子どもたちが地域とかかわる活動を行い、まちを愛する心を育てます。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きて働く知	<p>①全学級で、聞き方や話し方などの学習ルールを徹底する。</p> <p>②算数科を核として、授業のユニバーサルデザイン化に取り組む。特に、児童の実態に応じた主体的に取り組む「教材へのしかけ」と「手立て」を工夫する。</p> <p>③思考力を育むために、問い返しの発問を吟味する。</p>
担当	研究推進委員

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

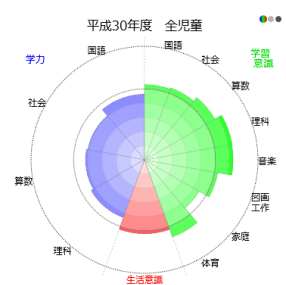
(1) 学力の概要と要因の分析

重点研究で、どの子どもも意欲的に取り組む算数科の授業づくりに取り組んできた。また、授業のユニバーサルデザイン化をテーマに、どの子どもも「分かる・できる」授業を目指して、学校全体で授業改善・教室環境整備に取り組んできたが、まだまだ十分な成果は得られていない。各教科の授業や28年度から始まった朝学習の充実を図り、基礎・基本の確実な定着に向けて取り組んでいく必要があると思われる。

さらに、学校と家庭の連携を一層深め、共通理解を図りながら、子どもたちが学習意欲を高めたり、よりよい生活習慣を身に付けたりすることができるように、努めていく必要がある。

(2) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

学力については市平均前後の学年が多い。学習意識は少し低下しており、どの子どもも意欲的に取り組む授業づくりを目指して全職員で研究を一層深める必要がある。生活意識では、一日の学習時間や読書時間、塾での学習時間が市平均を上回っており、保護者の教育に関する意識は高いと言える。一方、携帯電話やスマートフォンの使用時間が長いこと、就寝時間が遅い傾向にあることが課題となっている。家庭への協力を呼び掛けていく必要がある。



3 令和元年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> ◆感じたことを言葉にする力 ◆問題を発見する力 ◆主体性・積極性 	○説明する文章、紹介する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに、できる限り対話をする場面を位置付ける。	○分からないこと、詳しく知りたいことを尋ねたり、気持ちを表情や態度、言葉で表したりしながら対話する。
2年		○体験を通して自分の生活について考えて報告する文章や説明する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに、話し合いをする場面を位置付ける。	○大事だと思った点を確認めたり、関連した情報を提供したりしながら話し合う。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ◆伝える内容を明確にする力 ◆問題を理解する力 ◆意思決定する力 	○社会科等で見学・調査したことを説明する文章や記録する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに、話し合いをする場面を位置付ける。	○理由や根拠を尋ねたり、まとめたり補足したりしながら話し合う。 ○列挙したり、順序を付けたりして考える学習を計画的に行う。
4年		○算数・理科等で説明する文章、記録、報告する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに、話し合いをする場面を位置付ける。	○反対の意見を出したり、相手の考えを取り入れて、自分の考えを述べたりしながら話し合う。 ○順序をつけたり、関連付けたりして考える学習を意図的・計画的に行う。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ◆伝え合うことで自分の考えを深化させる力 ◆問題解決の過程を振り返る力 ◆つながりを考え、合意形成する力 	○総合的な学習等で説明する文章、意見を述べる文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに話し合いをする場面を位置付ける。	○相手の話を一般化したり、経験を加えて拡張したりしながら話す。 ○関連付けたり、分類・整理したりして考える学習と振り返りを行う。
6年		○教科等の学習で今まで身に付けた様々な文章を書く力を自覚的に生かすことができるようにするとともに、話し合いをする場面を位置付ける。	○曖昧な点を明確にしたり、違った視点を打ち出したりしながら話し合う。 ○関連付けたり、分類・整理したりして考える学習と振り返りを行う。
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> ◆言葉による伝え合い ◆協同性 ◆自立心 	○個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、話し言葉、表情、仕草、書き言葉等、発達段階に応じた適切なコミュニケーション手段を積極的に活用する場面を設けるようにする。	○子どもの発達段階に応じて、各学年の取組を参考にし、必要な取組を行うようにする。 ○子どもに応じた分かりやすい情報発信をするなど、言語環境の整備を行うようにする。